

研究計画書

1. 研究課題名	薬剤溶出型ステント「シナジー ステントシステム」およびガイドエクステンションカテーテル「GUIDEZILLA II」の市場実態調査	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	・乙は、甲の取扱うシナジー ステントシステムを使用する症例が発生した場合には、使用の都度、甲所定の「市場実態調査 個別評価票」(以下「個別評価票」という)に、必要事項を記入する。 ・同時に GUIDEZILLA II を使用した場合には、GUIDEZILLA II についても必要事項を個別評価票に記入する。 ・乙は、個別評価票への記入内容をもとに、甲所定の「市場実態調査総合評価票」(以下「総合評価票」という)に必要事項を記入する。 甲 ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 乙 大阪府警察協会 大阪警察病院 循環器内科	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口義治 循環器内科 部長	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口義治 循環器内科 部長	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他()
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	<インフォームド・コンセント(アセント)について> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年(提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 循環器内科 担当者: 中谷 晋平 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究計画書

1. 研究課題名	血管内超音波カテーテル「オプティクロス」の市場実態調査	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	・乙は、甲の IVUS 製品を使用する症例が発生した場合には、使用の都度、甲所定の「市場実態調査 個別評価票」(以下「個別評価票」という)に、必要事項を記入する。 ・乙は、個別調査票への記入内容をもとに、甲所定の「市場実態調査 総合評価票」(以下「総合評価票」という)に必要事項を記入する。 甲 ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 乙 大阪府警察協会 大阪警察病院 循環器内科	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口義治 循環器内科 部長	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口義治 循環器内科 部長	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント)について> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年(提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科: <u>循環器内科</u> 担当者: <u>中谷 晋平</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究計画書

1. 研究課題名	カテーテルアブレーション症例全例登録プロジェクト (J-ABレジストリ)
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場 合には品名と一般名も記載)	<p>1. 目的: 日本におけるカテーテルアブレーションの現状(施設数、術者数、疾患分類、合併症割合等)を把握することにより、カテーテルアブレーションの不整脈診療における有効性・有益性・安全性およびリスクを明らかにすることを目的とする</p> <p>2. 対象(予定症例数(コントロール群の有無)とその根拠を記載) 我が国でカテーテルアブレーション治療を実施されたすべての患者を対象とする。我が国の年間カテーテルアブレーション件数は、約5万件/年であり、約4万件/年の登録を予定している。</p> <p>3. 方法</p> <p>1. 研究のデザイン: 前向きコホート研究</p> <p>2. 症例データの登録および追跡方法: 症例データの登録は、Electronic Data Capture システム(以下、EDC)の一つである Research Electronic Data Capture (REDCap®)を用いて行う。REDCap®は、NIHの援助により米国ヴァンダービルト大学が開発し、アカデミアを中心に世界で広く使われているデータ管理システムである。REDCap®上には個人情報含まれず、互いの研究者間で個人情報が漏れることはない。各研究協力施設の医師は、本研究に該当する患者の外来受診時あるいはアブレーション入院時に被験者を登録し、ベースライン調査項目を入力する。登録期間は10年間(倫理委員会承認日～2026年3月31日)とする。登録期間を延長する場合には、倫理委員会に再申請する。</p> <p>3. 登録項目: すべての症例に基本項目(付表1)を登録し、診断名をもとに疾患別項目(付表2)を登録する。また、アブレーション実施患者においては、毎年9月に詳細項目(付表3)を登録する。詳細項目は、前年の研究成果をもとに毎年項目を作成あるいは修正し、翌年8月までに倫理委員会にて審査・承認を取得の上、実施する。</p> <p>4. 追跡期間: 登録開始より1年後あるいは死亡までを追跡期間とする。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>1. 記述統計: 組み入れられた被験者のカテーテルアブレーションの実施状況(アブレーション件数、診断名、実施施設数、術者数、合併症等)について、頻度または記述統計量を算出する。</p> <p>2. 主要な評価指標の解析: 追跡期間中のアウトカムに対する基本項目および疾患別項目の影響を、ロジスティック回帰モデルにより解析する。さらに、施設要因および術者要因を階層要</p>

	<p>因としてロジスティックモデルにより解析する。</p> <p>5. 期待される成果並びに生じる権利 この研究の結果として知的財産権が生じた場合、その権利は研究責任者などに帰属し、研究に参加した被験者には属さない。</p>	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	<p>山根禎一 循環器内科 東京慈恵会医科大学 平尾見三 循環制御内科学 東京医科歯科大学 草野研吾 心臓血管内科不整脈科 国立循環器病研究センター</p>	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治・循環器内科・部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	<p>〈侵襲性について〉</p> <p><input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究</p>	<p>〈共同研究の有無について〉</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>
	<p>〈介入について〉</p> <p><input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)</p>	<p>〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト</p>
	<p>〈試料・情報の利用について〉</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)</p>	<p>〈モニタリングと監査について〉</p> <p><input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要</p>
	<p>〈対応表の作成の有無について〉</p> <p><input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし</p>	
6. 研究の対象及び実施予定期間	<p>カテーテルアブレーション治療を実施された方 登録期間 : 10年間 (倫理委員会承認日~2026年3月31日)</p>	
7. 問合せ先	<p>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>循環器内科</u> 担当者: (氏名) <u>平田明生・牧野信彦</u> (職名) <u>副部長</u> 連絡先: 06-6771-6051 (下記の例文を用いてください) ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>	

研究計画書

1. 研究課題名	非弁膜症性心房細動を有する後期高齢患者を対象とした前向き観察研究 (All Nippon AF In Elderly Registry-ANAFIE Registry)	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	<p>【研究の目的】 本研究は、非弁膜症性心房細動 (NVAF) を有する後期高齢患者 (75歳以上) における抗凝固療法の実態及びその予後を明らかにするとともに、脳卒中/全身性塞栓症及び頭蓋内出血のリスク因子を特定し、直接経口抗凝固薬 (DOAC) に最適な治療対象集団及びその使用法を明確にすることを主目的とする。また、副次的に NVAF に関連する種々のクリニカルクエスションについて検討する。</p> <p>【実施計画の概要】 非弁膜症性心房細動 (NVAF) を有する後期高齢患者 (75歳以上) 30,000例を登録し、2年間追跡する前向き観察研究。</p>	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	山下 武志・所長・公益財団法人心臓血管研究所	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治・循環器内科・部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (第一三共株式会社との委託研究)
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント) について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 (クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社) ・監査実施者 (株式会社リニカル) <input type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について: 外来設置の研究ファイル内に保管) <input type="checkbox"/> なし	
6. 研究の対象	対象: NVAF を有する後期高齢患者 (75歳以上) (抗凝固薬の投与の有無、抗凝固薬の種類は問わない) ・予定症例数 全体: 30,000例、当院: 400例 (観察研究のため、コントロール群なし)	

<p>7. 問合せ先</p>	<p>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科：循環器内科 担当者：(氏名) 樋口 義治 (職名) 部長 診療科：循環器内科 担当者：(氏名) 平田 明生 (職名) 副部長 連絡先：06-6771-6051</p> <p>※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>
----------------	---

情報公開文書

<p>1. 研究課題名</p>	<p>canPass, canPass-Hard及びPanteraLE0の病変通過時間の調査</p>
<p>2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場 合には品名と一般名も記載)</p>	<p>1. 調査の背景と目的 近年の糖尿病患者や透析患者の罹患率の高さから、高度複雑病変を対象とした経皮的冠動脈形成術が増加することが予想される。高度複雑病変に対する PCI 治療においてバルーンをはじめとする治療デバイスの病変通過に難渋することは少なくない。このような状況下では必然的に PCI の治療時間が長くなり、ひいては X 線被爆量が増加することになりかねない。以上の背景から高性能の PTCA バルーンを使用して被爆時間を短縮させることは、患者様並びに術者の健康被害の軽減につながると考えられる。一般に高性能 PTCA バルーンに求められる性能には、最適な通過性能と拡張性能のバランスを備えていることが条件と言われている。しかしながら、通過性能を重視した仕様にすれば拡張性能が犠牲になるという傾向がある。このように相反する性能を最適なバランスで設計された高性能 PTCA バルーンを開発することは臨床上意義のあることと考える。本調査の目的は、調査対象機器の病変通過時間を収集し、通過性能と拡張性のバランスの検証に役立てることであり、また、その検証結果は弊社の次期 PTCA バルーンの開発の参考情報として活用する。</p> <p>2. 調査方法 調査対象機器が治療病変部位手前から目的とする拡張部位に到達するまでに要した時間とその病変情報、併用デバイス情報も併せて委託調査票に記載する。</p> <p>3. 調査スケジュール 2016年4月1日から2018年3月31日</p> <p>4. 目標症例数 7000 症例</p> <p>5. 調査対象機器 販売名：JLLMTP PTCA カテーテル 1 医療機器承認番号：22600BZX00013000 販売名：パンテラ・レオ PTCA バルーンカテーテル 医療機器承認番号：22500BZX00314000</p> <p>6. 調査の終了 本調査は委託調査票の取得を以って調査を終了とする。</p> <p>7. 調査の費用負担 本調査は通常診療の範囲内で診療データを収集するものであり、本調査で特別な診療を行う項目はない。そのため、再診料や検査費用などは通常の保険診療と同様の扱いとなり、被験者は通常の保険診療における費用を負担する。</p> <p>8. 調査成果の既存と結果の公表 本調査結果の公表及び出版はしない。</p>
<p>3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関</p>	<p>日本ライフライン株式会社 TVI 事業部 責任者：高宮 徹</p>

	日本ライフライン株式会社 TVI 事業部 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目 2 番 20 号 天王洲郵船ビル 25F Tel: 03-6711-5232, Fax: 03-6711-5236	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治 循環器内科部長、大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3 年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5 年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	2017 年 8 月 1 日～当院で心臓カテーテル治療を受けられた方	
7. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>循環器内科</u> 担当者: <u>(氏名) 中谷晋平</u> (職名) <u>副医長</u> 連絡先: 06-6771-6051 (下記の例文を用いてください) ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

情報公開文書

<p>1. 研究課題名</p>	<p>心房細動アブレーション後の抗凝固療法の使用実態と追跡調査 <u>Atrial Fibrillation registry to Follow the long-term Outcomes and the use of ANTIcoagulants after Ablation -AF Frontier Ablation Registry-</u></p>
<p>2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)</p>	<p>目的： ・病院、循環器専門施設に通院中で、カテーテルアブレーションを施行した非弁膜症性心房細動患者の実臨床における脳梗塞、出血性事象、心血管事象の発症率を明らかにすること。 ・抗凝固薬、抗不整脈薬の使用状況を調査し、適切な使用法を探求すること。</p> <p>デザイン：多施設共同、後ろ向き、観察、コホート研究</p> <p>対象患者： 選択基準 ・病院、循環器専門施設に通院中で、西暦2012年1月1日以降に心房細動に対するカテーテルアブレーションを施行し、術後一年以上経過した患者 ・20歳以上であること。</p> <p>除外基準 ・DOAC、ワルファリン投与禁忌に該当する例 ・妊婦、授乳期の女性、妊娠している可能性のある女性 ・アブレーション前2ヶ月以内に血栓塞栓症または心筋梗塞を発症した例 ・アブレーション施行時、悪性腫瘍などで生命予後が12ヶ月以内と考えられる例 ・他の介入を伴う臨床研究に参加している例 ・その他、研究責任医師または研究担当医師が不適当と判断した例</p> <p>症例数：全体 3,400例（当院400例）</p> <p>評価項目： 主要評価項目 ・アブレーション成功による抗凝固薬の中止割合* ・脳卒中（虚血性、出血性） ・一過性脳虚血発作および全身性塞栓症の複合の発症率</p> <p>副次評価項目 ・心房細動の再発 ・深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症 ・主要心事故（心血管死、非致死的心筋梗塞、入院を要する不安定狭心症、入院を要する心不全、入院を要する他の心血管イベント） ・死亡 ・重大出血事象（ISTH基準のmajor bleedingに該当する事象） ・非重大出血事象（重大出血に該当しない出血事象）</p>

	*副作用、大出血による中断は含まない	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	奥村 恭男・医学部内科学系循環器内科学分野・准教授・日本大学	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治・循環器内科・部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: 研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 循環器内科 担当者: (氏名) 平田 明生 (職名) 副部長 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 733号 承認日 2017年6月13日
 研究実施予定期間 承認日～2018年12月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	待機的PCI手技に伴う心筋酵素逸脱に対して、PCSK9阻害薬の術前単回投与の有効性を検討する臨床試験	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	待機的な経皮的冠動脈インターベンション (PCI) 治療において、既存の LDL コレステロール低下薬スタチン製剤のみを継続投与する従来治療群 (Conventional therapy; C群) と、スタチンの継続投与に加えて新規 LDL コレステロール低下薬 PCSK9 モノクローナル抗体製剤 (PCSK9mab) を治療前に単回投与する群 (PCSK9mab; P群) との間で、手技に伴う心筋逸脱酵素上昇 (Periprocedural Myocardial Infarction; PMI) の発症を比較する。 本研究の試験デザインは、単施設前向き無作為化オープンラベル比較試験である。虚血性心疾患を疑い心臓カテーテル検査あるいは冠動脈 MDCT を施行した症例のうちで PCI 適応となるものを対象として、本研究への参加同意を得る。無作為に C 群と P 群に割り付け、通常通りの手技で PCI を施行する。病変の性状を血管内イメージング法により評価する。PCI 翌日に心筋逸脱酵素 (CK, CKMB, 心筋トロポニン) を測定し PMI の有無を評価する	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治・循環器内科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	小出 雅雄・循環器内科・医長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<介入について> <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント) について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: 研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 循環器内科	

担当者：(氏名) 樋口 義治 (職名) 部長

連絡先：06-6771-6051

※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究番号 726号 承認日 2017年5月1日
 研究実施予定期間 承認日～2020年9月30日

情報公開文書

1. 研究課題名	非弁膜症性心房細動を有する後期高齢患者を対象とした前向き観察研究 (All Nippon AF In Elderly Registry-ANAFIE Registry-)	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	<p>【研究の目的】</p> <p>本研究は、非弁膜症性心房細動 (NVAF) を有する後期高齢患者 (75歳以上) における抗凝固療法の実態及びその予後を明らかにするとともに、脳卒中/全身性塞栓症及び頭蓋内出血のリスク因子を特定し、直接経口抗凝固薬 (DOAC) に最適な治療対象集団及びその使用法を明確にすることを主目的とする。また、副次的に NVAF に関連する種々のクリニカルクエスションについて検討する。</p> <p>【実施計画の概要】</p> <p>非弁膜症性心房細動 (NVAF) を有する後期高齢患者 (75歳以上) 30,000例を登録し、2年間追跡する前向き観察研究。</p>	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	山下 武志・所長・公益財団法人心臓血管研究所	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治・循環器内科・部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	<p>〈侵襲性について〉</p> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<p>〈共同研究の有無について〉</p> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (第一三共株式会社との委託研究)
	<p>〈介入について〉</p> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<p>〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉</p> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<p>〈試料・情報の利用について〉</p> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) <p>【保存年数】</p> <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<p>〈モニタリングと監査について〉</p> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> モニタリング実施者 () <input type="checkbox"/> 監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<p>〈対応表の作成の有無について〉</p> <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: 研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	<p>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</p> <p>大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 循環器内科 担当者: (氏名) 樋口 義治 (職名) 部長 連絡先: 06-6771-6051</p>	

	※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
--	--

情報公開文書

1. 研究課題名	待機的PCI手技に伴う心筋酵素逸脱に対して、プラスグレル維持量投与法と負荷投与法の有効性を比較検討する臨床試験	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	待機的な経皮的冠動脈インターベンション (PCI) 治療において、抗血小板薬エフィエント (一般名プラスグレル) を事前からの維持量投与 (Maintenance Dose) を行う群 (MD 群) と前日負荷投与 (Loading Dose) を行う群 (LD 群) との間で、手技に伴う心筋逸脱酵素上昇 (Periprocedural Myocardial Infarction; PMI) の発症を比較することにより、同治療における施行当日負荷投与の有用性を検証する。 本研究の試験デザインは、単施設前向き無作為化オープンラベル比較試験である。虚血性心疾患を疑い心臓カテーテル検査あるいは冠動脈 MDCT を施行した症例のうちで PCI 適応となるものを対象として、本研究への参加同意を得る。無作為に MD 群と LD 群に割り付け、通常通りの手技で PCI を施行する。病変の性状を血管内イメージング法により評価する。PCI 翌日に心筋逸脱酵素 (CK, CKMB, 心筋トロポニン) を測定し PMI の有無を評価する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治・循環器内科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治・循環器内科・部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<介入について> <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント) について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: 研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 循環器内科 担当者: (氏名) 樋口 義治 (職名) 部長	

連絡先：06-6771-6051

※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

情報公開文書

1. 研究課題名	経皮的冠動脈インターベンション施行患者を対象とした抗血小板療法による血栓性イベント、出血性イベント、血小板凝集抑制作用の実態調査	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	本研究では、経皮的冠動脈インターベンション (PCI) により薬剤溶出性ステントを留置した日本人患者を対象として、抗血小板薬治療時の血栓性イベントと出血性イベントの発現頻度を評価する。また、血栓性および出血性イベントに影響する因子を患者背景、血小板凝集抑制作用等の観点から探索的に評価し、リスクに応じた最適な治療選択の参考情報とすることを目的とする。本研究目的を達成するため、日本人 PCI 施行患者を対象にした実臨床下のデータを大規模に収集しリスク因子を探索する。また、抗血小板機能簡易モニターシステム VerifyNow を用いた血小板凝集能測定を大規模に実施し、イベント発現との相関を探索的に検討する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	中村 正人・循環器内科・教授・東邦大学医療センター大橋病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治・循環器内科・部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント) について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: 研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 循環器内科 担当者: (氏名) 樋口 義治 (職名) 部長 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ	

	わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
--	--

研究番号 712号 承認日 2017年4月7日
 研究実施予定期間 承認日～2017年12月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	心血管イベントを発生した冠動脈起始異常症例におけるClinical Profileおよび治療後の予後についての後方研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	冠動脈起始異常は突然死のリスクの高い先天性心血管疾患であることが知られている。今回は後方研究であり、多施設共同観察研究を行う。各施設で、心肺停止、心筋梗塞、狭心症および失神などの心血管イベントにより受診された冠動脈起始異常の症例を集計して検討する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	永嶋 孝一・循環器内科・助教・日本大学医学部附属板橋病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治・循環器内科・部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法：研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科：循環器内科 担当者：(氏名) 樋口 義治 (職名) 部長 連絡先：06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

情報公開文書

1. 研究課題名	持続性心房細動症例に対して追加通電の有無が心房細動再発に及ぼす影響に関する研究-多施設共同前向き無作為割り付け非劣性試験-	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	<p>持続性心房細動 (AF) に対するカテーテルアブレーションが有効であることが報告されているが、心房細動の再発が問題となる。そのため持続性 AF に対するカテーテルアブレーションにおいては、肺静脈隔離術を主とする基本手技だけでは良い治療成績が得られないという考え方から、心房全体に拡大した基質に対する追加通電 (線状焼灼、Complex Fractionated Atrial Electrograms (CFAE) ablation 等) を行うことが推奨されてきた。しかし、2015年になってこの経験的追加通電の優位性を示そうとした初めての大規模無作為化試験で、予想に反してこれら経験的追加通電の優位性は示されず、追加通電は成績向上に有効ではない可能性を示唆するものであった。</p> <p>そこで本試験では、肺静脈隔離術焼灼術を主とした基本手技のみの群と基本手技と追加通電を行った群で心房細動非再発率が劣らないこと検討することを主目的とした。また、今回は心房細動のトリガーの有無・起源がカテーテルアブレーションの成績に与える影響を副次的に検討することとした。</p>	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	坂田 泰史・循環器内科・教授・大阪大学大学院医学系研究科	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関		
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<介入について> <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント) について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 (大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 渡邊 貴恵) ・監査実施者 () <input type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: 研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】	

大阪警察病院

大阪市天王寺区北山町 10-31

診療科：循環器内科

担当者：(氏名) 平田 明生 (職名) 副部長

連絡先：06-6771-6051

※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

情報公開文書

1. 研究課題名	高血圧を伴う左室拡張機能低下を有する心不全症例を対象としたアジルサルタンの左室拡張機能改善効果の探索的検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	高血圧を合併した左室拡張機能障害を有する心不全患者を対象として、アジルサルタン投与前後の左室拡張機能の変化について、カンデサルタン投与群を対照として、多施設共同、無作為化、試験実施者・被験者非盲検、評価者盲検、実薬対照、並行群間比較、臨床試験にて探索的に検討を行う。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	北風 政史・臨床研究部・部長・国立循環器病研究センター	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治 循環器内科 部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input checked="" type="checkbox"/> その他（武田薬品工業株式会社との委託研究）
	<介入について> <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input type="checkbox"/> 介入を伴わない研究（観察研究）	<インフォームド・コンセント（アセント）について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規（取得試料・情報の利用） <input type="checkbox"/> 既存（取得試料・情報の利用） <input type="checkbox"/> 既存（残余検体の利用） 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年（提供元の場合） <input type="checkbox"/> 5年（提供先の場合）	<モニタリングと監査について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 （DOT インターナショナル株式会社 臨床研究支援本部 モニタリング部） ・監査実施者 （DOT インターナショナル株式会社 信頼性保証部） <input type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり（具体的な管理方法：研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。） <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科：循環器内科 担当者：(氏名) 林 隆治 (職名) 医長 連絡先：06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ	

	<p>わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>
--	---

情報公開文書

1. 研究課題名	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究 (AFIRE Study)	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	<p>【研究の目的】 安定型冠動脈疾患 (coronary artery diseases: CAD) を合併する非弁膜症性心房細動 (non-valvular atrial fibrillation: NVAf) 患者におけるリバーロキサバン単剤療法の有効性及び安全性をリバーロキサバンと抗血小板薬単剤併用療法と比較検討する。 リバーロキサバン単剤療法の有効性については、リバーロキサバンと抗血小板薬単剤併用療法に対する心血管イベントまたは総死亡の複合エンドポイント発生率について非劣性を検証する。また、安全性については、重大な出血性合併症発現率について優越性を検証する。</p> <p>【研究薬品の名称 (一般名 / 商品名)】 ・リバーロキサバン / イグザレルト錠 ・アスピリン / バイアスピリン錠・クロピドグレル硫酸塩 / プラビックス錠 ・プラスグレル塩酸塩 / エフィエント錠</p> <p>【研究計画書の変更のため変更申請】</p>	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	安田 聡・循環器内科学・副院長・公益財団法人 循環器病研究振興財団, 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口 義治 循環器内科 部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント) について> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: 研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31	

診療科：循環器内科

担当者：(氏名) 平田 明生 (職名) 副部長

連絡先：06-6771-6051

※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

情報公開文書

1. 研究課題名	心不全病態解明のための、遺伝子発現、蛋白機能および病理組織解析による探索研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	心不全の病態解明と診断治療への応用を行うために、心不全関連分子の遺伝子発現、蛋白機能および病理検体を解析し新しい分子マーカーを探索することを目的とした研究である。通常的心不全診断治療において、採取されたさまざまな病態の心不全症例に対して、血液検体、尿・糞便検体、心筋病理組織検体を用いて、蛋白解析、核酸解析、また残余病理切片を用いた心不全関連分子の探索同定を行う。匿名化された臨床検査データとともに病態への関連性に対する意味づけを行う。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	坂田 泰史・循環器内科・教授・大阪大学大学院医学系研究科	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント)について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: 研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 循環器内科 担当者: 樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究	

	対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
--	---

研究番号 593号 承認日 2016年4月14日

研究実施予定期間 承認日～2028年3月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	左室収縮能が保たれた心不全の予後に関する多施設共同前向き観察研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	本調査は、参加施設に入院した左室収縮能が保たれた心不全 (Heart Failure with Preserved Ejection Fraction: HFpEF) 患者を対象として、患者背景因子、病態評価項目、予後情報などを集約的に解析することで、HFpEF の病態解明 及び 予後規定因子の同定を目指すとともに、新規診断・治療法の開発につながる知見を出すこと目的とする。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	坂田泰史・循環器内科学・教授・大阪大学大学院医学系研究科	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: 研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 循環器内科 担当者: 樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 537号 承認日 2015年11月9日

研究実施予定期間 承認日～2018年3月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	植込み型心臓ペースメーカーの各種機能の使用と臨床転帰に関する観察研究II (BRADY-CARE II : Advanced Bradycardia Device Feature Utilization and Clinical Outcomes II)	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	本研究は、厚生労働省の製造販売承認を取得し、当院でも採用済みであるセント・ジュード・メディカル社製条件付 MRI 対応心臓ペースメーカー (①販売名：アシュリティ MRI、承認番号：22700BZX00181000 ②販売名：エンデュリティ MRI、承認番号：22700BZX00182000、③販売名：アクセント MRI、承認番号：22500BZX00241000、④販売名：アクセント MRI RF、承認番号：22500BZX00242000 を使用した患者を対象として実施する多施設共同観察研究である。徐脈を有し、標準的なペーシング療法が適応となる集団を対象とし、ペースメーカーに搭載される各種機能の使用状況を幅広く調査するとともに、入院、イベントの有無、治療介入時期等との関連を比較検討することを目的とする。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	坂田 泰史・循環器内科・教授・大阪大学医学部附属病院 Michele Massimo Gulizia・Azienda Ospedaliera Garibaldi Nesima (伊) Martin Bernhard Arnold・Kliniken der Friedrich-Alexander-Universität (独) Sylvain Reuter・Clin. Saint-Augustin (仏)	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (St.Jude Medical からの委託研究)
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法：研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
7. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科：循環器内科 担当者：樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長	

連絡先：06-6771-6051

※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

情報公開文書

1. 研究課題名	大動脈腸骨動脈病変を有する末梢動脈硬化症患者に対する血管内治療の予後に関する多施設・前向き研究(OMOTENASHI Registry)	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	本邦において腸骨動脈病変を有する症候性末梢動脈硬化疾患患者に対し待機的に自己拡張型もしくはバルーン拡張型ステントを用いた血管内治療を行った場合の安全性及び有効性に関する成績を明らかにする。 腸骨動脈病変の (Endovascular Treatment ; EVT) 治療の実態を明らかにすると共に、今日の医療環境下(高齢化、薬物治療)における腸骨動脈病変を治療した末梢動脈硬化症 (PAD:peripheral artery disease) の予後を明らかにする。 【多施設共同研究】	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	中村 正人・循環器内科・教授・東邦大学医療センター大橋病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント) について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法: 研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 循環器内科 担当者: 樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究	

	対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
--	---

研究番号 493号 承認日 2015年6月1日
 研究実施予定期間 承認日～2018年11月30日

情報公開文書

1. 研究課題名	NoboriバイオリムスA9エリ्यूティングステントの至適二剤併用抗血小板療法（DAPT）期間の検討試験（NIPPON試験）	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 （研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載）	Nobori バイオリムス A9 エリ्यूティングステントを用いるステント留置術後の二剤抗血小板療法において、二つの異なる継続投与療法（6ヶ月と18ヶ月）を比較し、6ヶ月の投与期間での臨床成績が18ヶ月の投与期間に劣らないことを証明する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	中村 正人・東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科・教授 横井 宏佳・福岡山王病院 循環器センター長	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究（観察研究）	〈インフォームド・コンセント（アセント）について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規（取得試料・情報の利用） <input type="checkbox"/> 既存（取得試料・情報の利用） <input type="checkbox"/> 既存（残余検体の利用） 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年（提供元の場合） <input checked="" type="checkbox"/> 5年（提供先の場合）	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者（ ） ・監査実施者（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり（具体的な管理方法：研究責任者がパスワードを設定したUSBメモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。） <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科：循環器内科 担当者：樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長 連絡先：06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 397号 承認日 2014年7月8日
 研究実施予定期間 承認日～2024年12月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	大動脈内視鏡による動脈硬化診断と予後予測についての検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	大動脈内視鏡検査によって大動脈における動脈硬化の程度を診断し、 その状況と予後の関係について検討する。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他()
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント)について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年(提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input checked="" type="checkbox"/> あり(具体的な管理方法:研究責任者がパスワードを設定したUSB メモリに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科:循環器内科 担当者:樋口義治・大阪警察病院循環器内科部長 連絡先:06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者 さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究 対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生 じることはありません。	